

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第1部門第1区分  
 【発行日】平成22年1月14日(2010.1.14)

【公表番号】特表2009-518005(P2009-518005A)  
 【公表日】平成21年5月7日(2009.5.7)  
 【年通号数】公開・登録公報2009-018  
 【出願番号】特願2008-542473(P2008-542473)  
 【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)  
 A 6 1 K 39/395 (2006.01)  
 A 6 1 P 37/06 (2006.01)  
 A 6 1 P 19/02 (2006.01)  
 A 6 1 P 29/00 (2006.01)  
 A 6 1 P 25/28 (2006.01)  
 A 6 1 P 3/10 (2006.01)  
 A 6 1 P 1/04 (2006.01)  
 A 6 1 P 17/06 (2006.01)  
 A 6 1 P 13/12 (2006.01)  
 A 6 1 P 21/00 (2006.01)  
 A 0 1 K 67/027 (2006.01)  
 C 0 7 K 16/28 (2006.01)  
 C 1 2 N 5/10 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/00	Z N A A
A 6 1 K	39/395	D
A 6 1 K	39/395	U
A 6 1 P	37/06	
A 6 1 P	19/02	
A 6 1 P	29/00	1 0 1
A 6 1 P	25/28	
A 6 1 P	3/10	
A 6 1 P	1/04	
A 6 1 P	17/06	
A 6 1 P	13/12	
A 6 1 P	21/00	
A 0 1 K	67/027	
C 0 7 K	16/28	
C 1 2 N	5/00	B

【手続補正書】

【提出日】平成21年11月20日(2009.11.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

OX40細胞外ドメインのアミノ酸配列中のエピトープと特異的に結合する単離または精製

された抗体であって、該抗体がヒト抗体、ヒト化抗体またはキメラ抗体を含み、かつ該抗体がOX40アンタゴニスト活性を有する、前記抗体。

【請求項 2】

前記OX40細胞外ドメインのアミノ酸配列中のエピトープが、  
MCVGARRLRGPCAALLLLGLGLSTVTGLHCVGDTYPSNDRCCHECRPGNGMVSRCRSRQNTVCRPCGPGFYNDVVSSKP  
CKPCTWCNLRSGSERKQLCTATGDTVCRCRAGTQPLDSYKPGVDCAPCPPGHFSPGDNQACKPWTNCTLAGKHTLQPASN  
SSDAICEDRDPPATQPQETQGPPARPITVQPTEAWPRTSQGPS (配列番号50)  
として記載される配列内に存在する、請求項 1 に記載の抗体。

【請求項 3】

OX40細胞外ドメインのアミノ酸配列中のエピトープと特異的に結合する単離または精製された抗体であって、該抗体が、112F32、112V8、112Y131、112Y55、または112Z5として示されるハイブリドーマ細胞系によって産生される抗体が結合するアミノ酸配列と結合するヒト抗体、ヒト化抗体またはキメラ抗体を含む、前記抗体。

【請求項 4】

112F32、112V8、112Y131、112Y55、または112Z5として示されるハイブリドーマ細胞系によって産生される抗体の約1~5000倍の範囲内でOX40結合親和性を有する、単離または精製された抗体。

【請求項 5】

112F32、112V8、112Y131、112Y55、または112Z5として示されるハイブリドーマ細胞系によって産生される抗体の結合特異性を有し；あるいはOX40との結合について112F32、112V8、112Y131、112Y55、または112Z5として示されるハイブリドーマ細胞系によって産生される抗体と競合する、請求項 1、請求項 3、または請求項 4のいずれか一項に記載の抗体。

【請求項 6】

112V8、112Y55およびY131のものとして示されるハイブリドーマ細胞系と同じエピトープと結合し、OX40リガンド(OX40L)とのOX40の結合を85%以上阻害または阻止する、請求項 1 に記載の抗体。

【請求項 7】

112F32、112V8、112Y131、112Y55、または112Z5として示されるハイブリドーマ細胞系によって産生される、請求項 1 に記載の抗体。

【請求項 8】

ELISAアッセイによって決定されるように、112F32、112V8、112Y131、112Y55、または112Z5として示されるハイブリドーマ細胞系によって産生される抗体のOX40との結合を阻害または阻止する、請求項 1、請求項 3、または請求項 4のいずれか一項に記載の抗体。

【請求項 9】

ELISAアッセイによって決定されるように、112F32、112V8、112Y131、112Y55、または112Z5として示されるハイブリドーマ細胞系によって産生される抗体のOX40との結合の少なくとも50%を阻害する、請求項 1、請求項 3、または請求項 4のいずれか一項に記載の抗体。

【請求項 10】

配列番号7~10および配列番号44~49で示される成熟重鎖および軽鎖可変領域配列を含む、請求項 1 に記載の抗体またはその抗体断片。

【請求項 11】

前記抗体断片が、Fab、Fab'、F(ab')<sub>2</sub>、Fv、Fd、単鎖Fv(scFv)、ジスルフィド結合Fv(s dFv)およびV<sub>L</sub>またはV<sub>H</sub>から選択される、請求項 10 に記載の抗体断片。

【請求項 12】

前記活性がOX40シグナル伝達を阻害することを含む、請求項 1に記載の抗体。

【請求項 13】

請求項 1 ~ 12のいずれか一項に記載の抗体と、製薬上許容される担体または賦形剤とを含む、医薬組成物。